

原子力発電所建設地に芦浜

近く精密測量開始

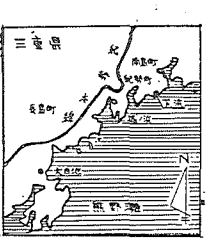
理由 漁場に遠いなどの利点

中部電力(社長横山進氏)はかねて昭和四十五年までに二十五万五千ワットの発電所を建設する目的で、原子力発電所の建設地を調査していたが、七月二十七日、その建設地として三河県野田市の芦浜(約一万平方メートル)を選定し、近く精密測量を開始した。これは同社三河支店が開かれた田中三郎社長と三河中部電力社長との第一回協議で決まったものであるが、これによって、これまで調査していた他の建設地は、すべて見送られたことになる。



海上から見た中部電力が精密測量に着手する芦浜地域

中部電力の原子力発電所建設地調査は、島田町周辺の利便的な電力需要地を調査し、表面に出たからして、一部地元民の反対があるが、その建設候補地は、手前側から三河支店と三河中部電力の第一回協議で決まった。これは同社三河支店が開かれた田中三郎社長と三河中部電力社長との第一回協議で決まったものであるが、これによって、これまで調査していた他の建設地は、すべて見送られたことになる。



芦浜とは、三河支店が調査していた他の建設地は、すべて見送られたことになる。

札幌、広島で懇談会

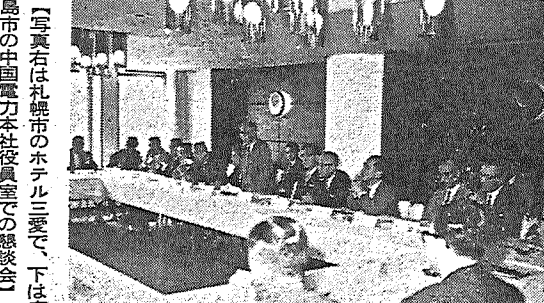
後期十年の建設めざす

日本原子力産業会議は、七月二十九日札幌と北海道電力、七月三十一日広島で中国電力と、それぞれ後期十年の原子力発電所建設の懇談会を開いた。この懇談会では、後期十年の原子力発電所建設の計画について、両電力と原子力産業会議の三者間で意見交換が行われた。札幌では、北海道電力の代表として、佐々木孝二社長が出席し、広島では、中国電力の代表として、佐々木孝二社長が出席した。

八月から一部操業

人形峠試験製錬所完工式

原子燃料公社が昨年四月から建設した人形峠試験製錬所(所長は人形峠試験製錬所所長)が、八月一日に一部操業を開始する。これは、同公社が建設した試験製錬所のうち、第一号試験製錬所が完工したためである。この試験製錬所は、人形峠試験製錬所のうち、第一号試験製錬所が完工したためである。



【写真】札幌市ホテル三愛で、下は広島市中国電力本社役員室での懇談会



【写真】広島市中国電力本社役員室での懇談会

ご家庭に住宅総合保険 企業に利益保険

安田火災海上

府中郡山形町杉谷に奥丹後駐在員事務所を開設、嵯峨川京都府知事代理など地元関係者約三十名出席して開所式をあげた。所長は昨年から現地に赴任して開設準備をしていた地質課の橋本好一氏、所員は六名である。

永年の技術と信用を誇る!

トノボ印製品

営業品目
石綿製品・テフロン
保温材・耐火板

本社
東京都中央区銀座西6丁目3番地1
電話(572)代表0321・0331

日本アスベスト

組林大

株式會社

取締役社長 大 林 芳 郎

本店 大阪市東区京橋3の75
電話大阪(941)861番(大代表)

東京支店 東京都千代田区神田司町2の3
電話東京(201)5441番(大代表)

支店 札幌・仙台・横浜・名古屋・岡山
広島・福岡・高松

世界に名をあげた東京サイクロトロン

研究進展で設備不足

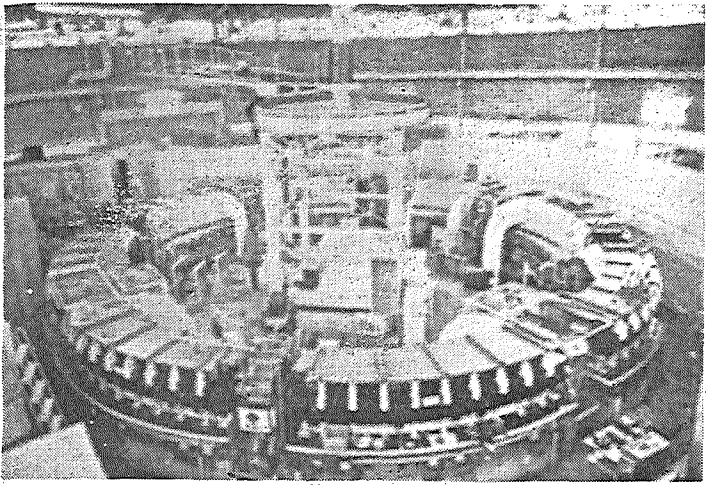
東京都 田無町に 東大核研を見る



③ 開西の大学 共同利用施設 として、大阪 府府取町の京 都大学原子力 実験所が、 最近完成した が、東の共同 利用施設には 昭和三十三年以来大きな発展を 迎えている東京大学原子核研究所 (東京田無町)がある。これは 東京郊外の田無町に、当時とし ては十分な設備をそなえて 発足した全国からの利用希望 者があつて手続になり、研究 設備もサイクロトロン、サイクロ トロンだけでは目的が果たせな いので、陽子シンクロトロン(建設 費約三百億円)という巨大な 施設の建設を政府に申入れて いる。

陽子シンクロトロン(建設 費約三百億円)という巨大な 施設の建設を政府に申入れて いる。 陽子シンクロトロン(建設 費約三百億円)という巨大な 施設の建設を政府に申入れて いる。 陽子シンクロトロン(建設 費約三百億円)という巨大な 施設の建設を政府に申入れて いる。

東京大学原子核研究所のシンクロトロン全景



足りない研究時間

十四グループが終夜実験

次に高エネルギー部へまわって 陽子シンクロトロン(建設 費約三百億円)という巨大な 施設の建設を政府に申入れて いる。 陽子シンクロトロン(建設 費約三百億円)という巨大な 施設の建設を政府に申入れて いる。

次は三百億円予算

ぜひ必要な陽子シンクロトロン

このほか核研には宇宙線部があ る。この仕事は十の十から十 の二十乗eVのエネルギーをもつ 宇宙線を捉え、加速器ではまだ 到達しない高いエネルギーによ り素粒子を研究することである。 それとも一つ、宇宙創成の経 過、宇宙の構造を調べる。 管理運営の責任は教授会がも っているが、研究チームの方針を決 めるのは、所内外の委員から成る 運営委員会、所長の諮問機関と して働いている。核研は共同利用 施設だから、各大学から実験をし にくるが、テーマを公募したり、 になる見込みである。次の会合 は八月十一日開く。



原子力局の核燃料 課長になった 萩野谷 徹

このところ原子力局の異動は 目まぐるしい。そのおかげで、 だ、この欄で紹介したばかりの 田宮前核燃料課長が監理官室 へ、そのあとにワシントンから 帰った(科学)アサヒ、在任四 年)萩野谷さんが登壇した。 帰国が決まった時はさぞは 早く食べたかった、帰ってみ たら女性ばかりのブリティッシュ 的の魅力の方はいさか... なたは女性ばかりのブリティッシュ 的の魅力の方はいさか... なたは女性ばかりのブリティッシュ 的の魅力の方はいさか...



はじめは熱中性子炉用

原燃のプルトニウム燃料研究施設

原子燃料公社は七月二十七日、 プルトニウム燃料研究施設を建設 するための契約状況についてつぎ のように明らかにした。 A 技術輸入 契約の相手はニ ーエック・ステイブル・ア ン・エイク・メント・コーポ レーション(NUMEC)の建 物の詳細設計、鉄筋コンクリ ート造り、地下一階、地上二階、 延べ約四千六百八十平方。三 十八年二月契約、同年十二月完 了。対価十三万七千六百(四 千九百七十八万三千三百)の機 器の設計、試運転等に関する 技術指導。三十八年十月契約、 四十一年完了。対価五十一万二 千九百四十四(一億八千五百五 十一万三千四百)。

原子炉主任口 試験合格発表

科学技術庁は七月二十七日、同 月七日実施した第六回原子炉主任 技術者口答試験の合格者をつぎの ように発表した。 日本原子力事業伊藤、同小川 修夫、日本電気山下昌男、日立 製作所小笠原隆雄、立教大高見 保清、東京電力結城誠、京大木 村浩郎、中国電力平岡豊久、中 部電力小杉久夫、関西電力山口 淳、原研村崎明、同横尾宏、 同高柳弘、同下武蔵、九州電 力山本達雄、三菱原子力工業 田公彦。

TOKYO GAS 東京瓦斯株式会社 東京都中央区八重洲1の3 電話 (281) 0111-10, 0121-10, 1121-10

資生堂 ポアン剃刃 剃刃の革命 ステンレスの刃... 7枚入 100円

東京・日本橋 / 全国各地支店
電話 271-2351 振替 東京5番

古　　い　　伝　　統
新　し　い　技　術
誠　実　な　施　工

●体力強化に…

中年からの健康づくりには強肝剤とビタミンミネラルをとることが大切です。強力ゴルフにはあなたの健康に必要な成分がぎっしり入っています。二日酔・肌あれ・つわりにも…

強肝成分+総合ビタミン+ミネラル

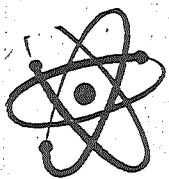
強力ゴルフ

30錠 60錠 100錠 / 三共株式会社

本店 東京都中央区日本橋兜町一ノ三
支店 全国主要都市百余店

山一證券

山一で
証券のある
生活を



原子力産業新聞

原子力産業部会が初会合

審議事項などを決定

土屋委員・海外事情を説明

通産省産業構造審議会の原子力産業部会（部会長堀越敏三氏）は、八月二十五日（火）午前十時から東京赤坂のプリンス・ホテルで初会合をむかへる。審議事項として①原子力発電長期計画の具体化②機器、材料の国産化および関連企業の基盤強化を決めた。部会の審議は一年間にわたって継続される。

間に発電コスト五ミル以下となり、在来エネルギーと競合できる見通しにまで進んできている。興味があったのは、競争相手とみられる石油業界が原子力の将来性を非常に大きく見ており、一九七五年には発電額の三七％、八五年には五

▼幹会長 堀越領三（経団連常任理事）▼委員 松根宗一（原産副会長） 荒川康夫（電力中研理事） 石原武夫（電気事業連合会副会長） 一本松珠環（原電社社長） 今井博（開銀理事） 今井美材（原燃理事長） 大堀弘（電源

(日立製作所副社長) 三田民雄
(中部電力副社長) ▼幹事 村
田浩(原子力局長) 島田喜仁
(通産省企業局長) 熊谷典文
(通産省重工業局長) 宮本惇
(通産省公益事業局長)

案を作成し、ふたたび聴聞会を開いて各方面の見解を打診した。この第三回聴聞会におけるJCAEの関心は、つぎの四つの問題点。すなわち①濃縮用外国ウラン鉱石あるいは濃縮ウランの輸入、おける国内市場での最終的な販売対

止および射撃場の早期返還運動」と「返還促進大会の開催」を決定した。

このためこの促進会議を水戸対地射撃場返還促進大会に切り換え、二百余万全県民の意願である「水戸射撃場の早期返還に関する

五割が原子力によって占められるという推定を述べていることだ。」この報告について質疑応答のうち、村田原子力局長から動力炉に重点を置いて研究開発の現状を説明。その後審議に入り、部会の審議事項を決めて散会した。

なお同部会の構成はつぎのとおりである。

開榮副總裁 小川彰（長銀專務）大山形（東大教授、加藤博務）
兒（関西電力副社長、白沢富一郎）（東電常務）
関薗長（三菱原力社長）
瀬藤肇二（日本原力社長）
田中慎次郎（評論家）
土屋清（産経新聞取締役）
平塚正俊（住友原子力社長）
前田七之

当時問題となっていたのは、①一貫
メーカーの出現による核燃料市場
独占の可能性、②国内ウラン鉱採
掘業者の保護、③プルトニウム質
戻し方針の不明確、④中小燃料加
工業者に対する燃料インベントリ
のための資金措置、などであっ
た。その後AECはこれらの問題

上臈知事、本沢原藏会議長、向井
科学技術庁政務次官、衆参両院科
学技術振興対策特別委員長、県選
出国會議員、県議會議長、県下市
町村長、市町村議会議員、渡辺沢
城原子午開発協議会会長ほか県内各
界の代表者四百余名が会合した。

核燃料民有化法案米西院を通過

完全な移行は十年先

六九年から賃濃縮を開始

アメリカ原子力法（一九五四年法）の最も大規模な修正といわれる核燃料民有化法案（原子力法改正法案）は、さる八月六日上院を、ついで十八日下院を通過成立し、近く施行される運びとなった。これにより一九四六年の原子力法制定以来一貫して守られ、一九五四年の大改正にさいしても、政府および産業界の要望を無視して持続された核燃料政府独占の大方針は、大きく転換されたわけである。法律の施行に伴い、アメリカの核燃料は一九六九年一月一日以降買渡総業務を開始、一九七一年一月一日貸貸とフルトニウム買戻し打ち切り、七三年六月三十日まで完全に民有移行の手續で、逐次民間の所有に移される。

承認された改正法案の新条項および主要な修正点はつぎのようなものである。 ブルトニウム・ウラン²³³の買戻し 政府が買戻しを行なうブルトニウムは原子力法第一〇四条B項に基づく原子炉で生産され、一九	に許可申請を提出する。 採鉱精練業者の保護 一六一条V項はまた、AECに対し外国産ウラン鉱石による買戻縮に關し、国内の採掘、精練業者の保護の目的で、それを拒否あるいは制限する権限を与えている。
この線に沿つて原子力法の	を議會に提出したが、JCC開催した聴聞会で多くの問題が起され、結局この第一次草案は却下されるに至つた。

七月一日までに原子力委員会（AEC）に引渡されたものに限り、保証価格はAECが定めることとなった。ウラン²³³の買戻しについては期限の定めがなく、この理由として、政府がトリウム²³³ウラン²³³サイクルを利用する原子炉の開発に關心を有していることがあげられている。

成型加工業者に対する特別措置
中小の成型加工業者がインベントリーの資金調達で不利な立場におかれることを避けるため、一九七一年一月一日の貸付打ち切り後も、これらの業者には例外を認めて、民間産業界は積極的
に要望

水戸対地射撃場の返還
徹するため、華泉一致運動を継続している茨城
八月十六日午前十時から秋の阿字ヶ浦海岸で「水戸対

県民大
茨城県

實濃糖 軍事用核分裂物質の生産削減によって濃縮加工費が騰貴するのを防ぐため、一六一条五項を挿入した。この条項により一九四九年一月一日以降濃縮業務を担が無税の特典が増加し、その財政負担が無視できない状況となつてきた。

「法案成立のいきさつ」

アメリカにおける核燃料民有化の動きは原子力発電の進展に伴って、産業界が政府より賃借する核燃料の量が增加し、その財政負担が無視できない状況となつてきた。

野島渡辺進雄県民大会で
同射線野島が即時還選と
五D戦國總縣展の演習中
の決議をし、この実現に
動を展開することにたつた。
この県民大会には、党員
も参加し、山田正太郎は

わてと同じく、この事業には四十
五日間の余裕期間を以て上下両
院努力力合同委員会（ＪＣＡＢ）
で、これらの負担を軽減したいと
いう財務当局の意向に臨み発して
いる。一九六三年三月、ＡＢＣは
百数十台のバスを運搬し先づ水戸
市対地射野線増設選定推進委員
会を初め、金沢市の各市町村を巡

れた。同様に、この事業には四十
五日間の余裕期間を以て上下両
院努力力合同委員会（ＪＣＡＢ）
で、これらの負担を軽減したいと
いう財務当局の意向に臨み発して
いる。一九六三年三月、ＡＢＣは
百数十台のバスを運搬し先づ水戸
市対地射野線増設選定推進委員
会を初め、金沢市の各市町村を巡

県民大会に六千名

茨城県の水戸射爆撃場返還運動

水戸対地射撃場の返還要求を貫徹するため、拳原一紙の態勢で運動を継続している茨城県では八月十六日午前十時から那珂湊市六千名の県民が参加したが、県庁大会にこのように大がかりな運動をみたことは、同県としてははじめてのことであった。

の阿字ヶ浦海岸で「水戸対地射爆撃場設置促進県民大会」を開き、同時射爆撃場の即時返還と、F一〇五D戦闘爆撃機の演習中止を求めた決議をし、この実現に活発な活動を展開することにした。

この県民大会には、党派を超越した、地方の各政友、同志、台長、市会議員、町会議員の不安定な

茨城県東海村の原子力施設に隣接する一帯の地域は、原子力産業開発の重要な拠点であるにもかかわらず、付近に在日米軍の水戸駐爆撃場があつて、すでに二百余回の強迫下事件があつたが、そのF一〇五D戦闘爆撃機の演習が閉

した中央地方の名門豪族、臣位に如きもので、足利貞任の不安から水戸対地射撃場返還推進本部役員を初め、金県下の各市町村から百数十台のバスを運んで集合、約

ないような場合には、さらには、
による有効な措置をとること、

また、

行く人・来る人

八月二十八日帰国する。

原産だより

九月九日正午、東京丸の内の日本工業クラブで第六十六回理事會を開催、ひきつづき愛知科学技術庁長官、桜内通隆両原子力関係大臣と、近く帰国を予定されている。

原子力開発計画調査団の歓迎午會を開催する。

放射線化学研究会 Bグループ

九月八日午後二時原産

LAS-1 型

三菱ライナック LINAC

高エネルギーの電子線およびX線を発生する装置のライナックは工業、医学、食品、薬品工業など多くの分野で利用が期待されています。

用 途

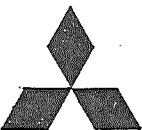
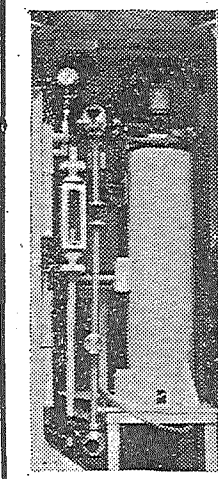
1. 放射線化学用
2. 殺菌、滅菌用
3. 非破壊検査用
4. 医療用
5. 物性研究用
6. 物理研究用

三菱重工業株式会社

三菱電機株式会社

三菱化工機株式会社

三菱原子力工業株式会社



再開に期待する

は本年二月に、原子力 検討の場

ついでであるが、基本法から十分審議が尽くさるべきである。現状は④国にロジックと電気事業法、計測計とこの関連、②とメーカとの関係、③の需要の大きさと五つの競争、などの基本的輸入と国産化の問題が中心化しており、産業界にはもとより限度があるが先電計自体にしても

ソルティアムを形成し、この協同体を通じて共同受注・自主分担の新しい行き方を生み出した。それによってロスの多い競争が排除され、ある程度競争が排除されたうえでこの例に則し、各グループの専業化が必要ではないかとという議論も出てくる。専業化によつてその分野に研究開発が集中でき、競争が少なくなり、海外メーカの下の請け的立場を早く脱却するようになる。また問題

トロント市の郊外に

発電コスト四^三ル以下を期待

見積り二百三十四万より約二%高いが、これは主として①機器価格の上昇による二万万、②建設材料の取引税千三百万が（これは初めの見積り時には除外されていた）および土地準備費の上昇等が原因となっている。

米民間企業で初の犠牲者

ウラン回収工場で被曝事故発生

ロード・アイランド州のユナイテッド・ニュークリア（NU）社では、きのう七月二十六日アメリカの原子力平和利用計画十八年の歴史における七番目の放射線事故死亡者をもした。これは民間産業界最初のものである。この事故は工場の安全処理規則に従がわずに、安全形状容器から大型タンクへ濃縮ウランを含む溶液を注ぎ込んだため発生したものである。といわれている。

三原型炉の建設で

西独 総計百万KWeに接近
西ドイツは、明年さらに三つの原型炉を建設する予定である。科学研究相はこれについて、原子力発電分野での国際的發展に歩調を合わせるための処置であると説明している。
今度の三原型炉は、電気出力二万五千KWの蒸気冷却炉（AEG）

海外短信

(電気出力五万kW)の加圧管型重水型多目的炉)である。九発電所の合計電気出力は九十九万二千KWに達する。

（電気出力五万kW）の加圧管型重水型多目的炉である。九発電所の合計電気出力は九十九万二千KWに達する。

約一年くらい続けられる試験期間中、AEBでは、九発電所を含む深海試験は八月初めに予定されている。

（電気出力五万kW）の加圧管型重水型多目的炉である。九発電所の合計電気出力は九十九万二千KWに達する。

ウインズケール第
二再処理工場稼働
イギリス原子力公社（AEA）
が建設しているウインズケール第
二再処理プラントは六月七日重運
転となる。

特徴により、海洋床の構造強度の
測定が可能となり、海洋学者が海
洋床の調査に如何なる装置が利用
できるかをきめることができるよう
になる。

に入り、一月後の七月九日には通常運転時の三〇％にまで高めたが、何ら困難にはぶつからなかった、といわれる。このプラントは世界最大の商業規模で、年間処理能力千五百ポンドと公表され、第二次

改良された装置は、恐らくアメリカシウム組のような小さな中性子源を使用することになる。開発契約の総額は多分これまでの開発に支出された七万ポンドよりは少ないと見られている。

発電機計画五百万kWの使用済み燃料を処理する他、他國の顧客に対するサービスも行う。

ウインズケール第一号再処理プラントは、小さな故障が多数あったが十二年間運転されてきてい

英原子力公社(AEA)は、このほどホーカシンドレー社アプロボイトトワース部に對し、新開発の核燃料容器二万五千個を発売

AEA、新型燃料容器を本社に発売

る。しかたなく、需要の増加に果合するためには、ぜひ大型のプラントを建設する必要性があったもので、第二号プラントは新しい工程つまりピュレックス法を使い、工程制御と安全性に十分に注意が払われていた。これまで AEB が開発、生産してきた原子炉用核燃料容器などは、すべて圧延またはへらしほねなどの応用による製作されてきたが、ホーカシドレー社の三年間わたる研究の結果、これら主注

なお、同プラントには補助装置として、濃硫酸化燃料を再処理する前処理工程の建設が計画されている。

米でR-1利用の海羊底穴燐物密度計

には、特製ミートンクが用いられ、工法の方がはるかに価格も安く、しかも製作が容易であることが判明した。

なおAEAでは同社に対し核燃料容器のほかに、同装置製作用の特殊工作業場（2千台も同時生産）

RI利用の海底沈澱物の密度記録計が開発され、最初の試験を成した。

を設け、R-I利用促進における諸問題と各専門分野について自由討

二冷却炉型を

二冷却炉型を

ウィンズケール AGR 用燃料取扱いケーブルの一部

功裏にパスした。

アメリカのドレッシング・インダストリーズ社とその子会社のレイン・ウエルズ社が米原子力委員会（AEC）向けに開発したこの装置は、移動可能な百バキュリートのセシウム137の放射線源と後方散乱を測定する計器のついた長さ三十六フィートの鋼製円筒からできており、沈殿層の表面から二十フィートの深さまでの正確な密度分布を計ることができるといわれる。

結果はフィルムに記録される。重さ七百ポンドのこの装置は海洋観測船からのケーブルによって移動される。海洋学者にとってこれと比擬し得る装置は案だまででない。

この新しい装置は米海軍海洋調査局の手によってメキシコ湾の浅海で成功裏に試験が行なわれた。深海試験は八月初めに予定されてゐる。

約一年くらゐ続けられる試験期間中に、AECは、沈殿層の含有水分量の測定もできるようにこの装置を設計し直すことを希望している。この新しく付け加えられる特徴により、海洋床の構造強度の測定が可能となり、海洋学者が海

改良された装置は、恐らくアメリカシウム241のような小さな中性子源を使用することになる。開発契約の総額は多分これまでの開発に支出された七百万の倍は少ない。

と見られている。

**AEA、新型燃料
容器を本社に発注**

英原子力公社(AEA)は、このほどローカンドレー社アプロロハイットワース部に対し、新調

約2400万ポンド(三億五千万円)を要する

した。これまで A E A が開発、生産してきた原子炉用核燃料容器壁などの応用により製作されてきたが、ホーカースドレー社の三年間わたる研究の結果、これら工法により特殊ミリーニングによる切削

工法の方がはるかに価格も安く、しかも製作が容易であることが判明したものだ。

なおA Eでは同社に対し核燃料容器のほかに、同容器製作用の特殊工作機械二千台も同時に発注した。

二冷却炉型を

金	属	部	門
銅・金	銀・硫	化	鋳
石	炭	部	門
化	学	部	門
硫	酸・酸	化	チタン
機	械	部	門
密	岩機・その他	産	業機械
発	電	部	門

5部門を綜合した
 亏角経営を誇る!!

△古河鋁業

取締役会長 新 海 英 一
取締役社長 樽 原 良 一 郎

本 社 東京都千代田区丸ノ内2の8

化学を通じてあらゆる産業に奉仕する

化学工業薬品
農薬・医薬
非鉄金属
金属チタン
ポリソ

日本曹達

取締役社長 大和田 悌二

本社 東京都千代田区大手町2～4
新大手町ビルディング

第六回アイソトープ会議計画決定

論文二二三編を採択

海外参加者は二十一名に

十一月十六日から四日間、東京都千代田区平河町の日本都市センターで開催される第六回アイソトープ会議の準備委員会(委員長菊池正士氏)では、応募論文の選考をすすめていたが、このほど二二三編の採択を決定した。また開催計画についても開催プログラム、パネル討論会、総合発表会、懇談会、施設見学会、アイソトープ関連機器展示会の実施について方針が決まった。今回の規模は前回とほぼ同じであるが、国内応募の論文数がかなりふえたのが注目される。

採択論文数と内訳
この会議は、総合発表、研究発表、シンポジウム、パネル討論の四つに分かれておこなわれるが、論文を募集したのは、研究とシンポジウムで、選考結果はつぎの通り。

▽研究発表二二〇(八六)
物理八、化学二〇、機器一九、測定二七、安全取扱一六、施設五、放射線化学一六、その他九
▽シンポジウム九三(七七)
放射線管理にともなう放射線測定四、放射線分析一四、工業的計測法一九、工業における放射線利用の調整法七、放射線化学における線量率効果とLET効果三、放射線固相重合五、放射線に関する研究六、薬理研究におけるアイソトープの利用五、農林・水産生物研究への新しいアイソトープの利用二、農学への線源の利用二、生物反応の研究におけるトレーサー利用六、(カッコ内は前回の数)

なお海外からの応募論文は、六編で前回の二編よりかなり少なかった。

▽パネル討論会
①「ラジオグラフィの問題点」
座長 色真文(生研技研) 発表者 大野明(精工試)ほか四名
②「放射線分析」座長 宮崎雄(理研) 発表者 亀本雄一(原研)ほか四名
③「放射線化学工業化の技術的問題点」座長 雨宮俊夫(東大工) 発表者 野野村文(原研)ほか二名
④「大気環境の放射能への利用」座長 松尾孝(東大)

十一月十六日から四日間、東京都千代田区平河町の日本都市センターで開催される第六回アイソトープ会議の準備委員会(委員長菊池正士氏)では、応募論文の選考をすすめていたが、このほど二二三編の採択を決定した。また開催計画についても開催プログラム、パネル討論会、総合発表会、懇談会、施設見学会、アイソトープ関連機器展示会の実施について方針が決まった。今回の規模は前回とほぼ同じであるが、国内応募の論文数がかなりふえたのが注目される。

採択論文数と内訳
この会議は、総合発表、研究発表、シンポジウム、パネル討論の四つに分かれておこなわれるが、論文を募集したのは、研究とシンポジウムで、選考結果はつぎの通り。

▽研究発表二二〇(八六)
物理八、化学二〇、機器一九、測定二七、安全取扱一六、施設五、放射線化学一六、その他九
▽シンポジウム九三(七七)
放射線管理にともなう放射線測定四、放射線分析一四、工業的計測法一九、工業における放射線利用の調整法七、放射線化学における線量率効果とLET効果三、放射線固相重合五、放射線に関する研究六、薬理研究におけるアイソトープの利用五、農林・水産生物研究への新しいアイソトープの利用二、農学への線源の利用二、生物反応の研究におけるトレーサー利用六、(カッコ内は前回の数)

なお海外からの応募論文は、六編で前回の二編よりかなり少なかった。

▽パネル討論会
①「ラジオグラフィの問題点」
座長 色真文(生研技研) 発表者 大野明(精工試)ほか四名
②「放射線分析」座長 宮崎雄(理研) 発表者 亀本雄一(原研)ほか四名
③「放射線化学工業化の技術的問題点」座長 雨宮俊夫(東大工) 発表者 野野村文(原研)ほか二名
④「大気環境の放射能への利用」座長 松尾孝(東大)

十一月十六日から四日間、東京都千代田区平河町の日本都市センターで開催される第六回アイソトープ会議の準備委員会(委員長菊池正士氏)では、応募論文の選考をすすめていたが、このほど二二三編の採択を決定した。また開催計画についても開催プログラム、パネル討論会、総合発表会、懇談会、施設見学会、アイソトープ関連機器展示会の実施について方針が決まった。今回の規模は前回とほぼ同じであるが、国内応募の論文数がかなりふえたのが注目される。

採択論文数と内訳
この会議は、総合発表、研究発表、シンポジウム、パネル討論の四つに分かれておこなわれるが、論文を募集したのは、研究とシンポジウムで、選考結果はつぎの通り。

▽研究発表二二〇(八六)
物理八、化学二〇、機器一九、測定二七、安全取扱一六、施設五、放射線化学一六、その他九
▽シンポジウム九三(七七)
放射線管理にともなう放射線測定四、放射線分析一四、工業的計測法一九、工業における放射線利用の調整法七、放射線化学における線量率効果とLET効果三、放射線固相重合五、放射線に関する研究六、薬理研究におけるアイソトープの利用五、農林・水産生物研究への新しいアイソトープの利用二、農学への線源の利用二、生物反応の研究におけるトレーサー利用六、(カッコ内は前回の数)

なお海外からの応募論文は、六編で前回の二編よりかなり少なかった。

▽パネル討論会
①「ラジオグラフィの問題点」
座長 色真文(生研技研) 発表者 大野明(精工試)ほか四名
②「放射線分析」座長 宮崎雄(理研) 発表者 亀本雄一(原研)ほか四名
③「放射線化学工業化の技術的問題点」座長 雨宮俊夫(東大工) 発表者 野野村文(原研)ほか二名
④「大気環境の放射能への利用」座長 松尾孝(東大)

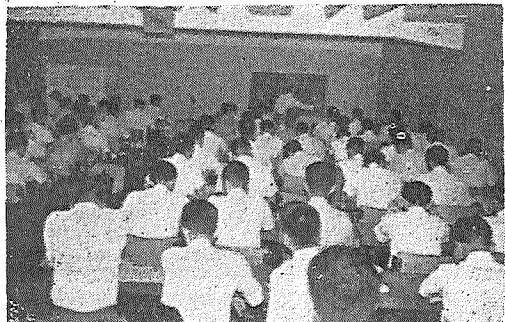
十一月十六日から四日間、東京都千代田区平河町の日本都市センターで開催される第六回アイソトープ会議の準備委員会(委員長菊池正士氏)では、応募論文の選考をすすめていたが、このほど二二三編の採択を決定した。また開催計画についても開催プログラム、パネル討論会、総合発表会、懇談会、施設見学会、アイソトープ関連機器展示会の実施について方針が決まった。今回の規模は前回とほぼ同じであるが、国内応募の論文数がかなりふえたのが注目される。

採択論文数と内訳
この会議は、総合発表、研究発表、シンポジウム、パネル討論の四つに分かれておこなわれるが、論文を募集したのは、研究とシンポジウムで、選考結果はつぎの通り。

▽研究発表二二〇(八六)
物理八、化学二〇、機器一九、測定二七、安全取扱一六、施設五、放射線化学一六、その他九
▽シンポジウム九三(七七)
放射線管理にともなう放射線測定四、放射線分析一四、工業的計測法一九、工業における放射線利用の調整法七、放射線化学における線量率効果とLET効果三、放射線固相重合五、放射線に関する研究六、薬理研究におけるアイソトープの利用五、農林・水産生物研究への新しいアイソトープの利用二、農学への線源の利用二、生物反応の研究におけるトレーサー利用六、(カッコ内は前回の数)

なお海外からの応募論文は、六編で前回の二編よりかなり少なかった。

▽パネル討論会
①「ラジオグラフィの問題点」
座長 色真文(生研技研) 発表者 大野明(精工試)ほか四名
②「放射線分析」座長 宮崎雄(理研) 発表者 亀本雄一(原研)ほか四名
③「放射線化学工業化の技術的問題点」座長 雨宮俊夫(東大工) 発表者 野野村文(原研)ほか二名
④「大気環境の放射能への利用」座長 松尾孝(東大)



第七回放射線取扱技術者講習会開始
日本原子力産業協会と日本保安用品協会主催の第七回放射線取扱技術者講習会は、八月二十四日から六日間、東京大手町の産業会館で開かれている。この講習会は、講義を産業会館、実習を千葉市黒砂町の放射線医学総合研究所で受けるものである。なお講義内容と講師は次のとおり。

圧迫された新項目

原子力予算案は二十六日決定

昭和四十年の原子力関係予算案は、科学技術庁から他の同庁予算案と一緒に、八月三十一日までに大蔵省へ送り込まれることになっている。原子力委員会は十九日午後、この最終調整について審議した。しかし、なおいろいろ解決できない問題点があった。この日は決定を見送り、二十六日の定例会で一度検討してから正式に決定することになった。

来年度の政府予算案は、財政的な考慮から先の閣議で前年度予算の三割増しの線にとどめようとの申し合わせがなされた。このため原子力予算は一項予算三十九億九千二百万円を加えて百四十二億九千二百万円に押し上げられることになり、年度の五割増に目標にした編成にくるべくとて窮乏なものになった。しかしこれを他の一面からみると、飛躍的に増強したといわれる。九年度の原子力予算案は、前年度比では一四割強にすぎなかった。これは、要は歩留まりがどの程度になるかというところが重要である。

▽24日原子核物理学概論、放射線と物質の相互作用、佐治淑夫(東大) 放射化学概論、木越邦彦(学研院) 25日放射線生物学、吉沢康雄(東大) 放射線測定技術、村主進(原研) 26日汚染除去と廃棄物処理の放射線管理技術、柳原茂雄(原研) 取扱施設と管理、速原の放射線管理、宮本一郎(原研) 27日線源、重松友道(原研) 放射線の化学的効果、岡野晴文(原研) R-1の工業利用概論、小林昌敏(都立大) 28日長夫(原研) 29日実習、放射線障害防止法、原子力局【写真】熱心な受講者

要視されることとなる。このため原子力委員会は、この三割増を強力実現の可能性があるものに集中する方針をとっている。

このほか四十年年度では、材料試験炉の建設関係で、債務負担行為の現金化するもの二億九千九百万円、原子力第一船建造のための頭金六億円、昨年一億円で足りた核燃料物質購入のための経費が関係が考慮されている。

の進展で三億円になったことなど、来年度の新規事業を非常に圧迫することになっている。

このほか四十年年度では、材料試験炉の建設関係で、債務負担行為の現金化するもの二億九千九百万円、原子力第一船建造のための頭金六億円、昨年一億円で足りた核燃料物質購入のための経費が関係が考慮されている。

の進展で三億円になったことなど、来年度の新規事業を非常に圧迫することになっている。

このほか四十年年度では、材料試験炉の建設関係で、債務負担行為の現金化するもの二億九千九百万円、原子力第一船建造のための頭金六億円、昨年一億円で足りた核燃料物質購入のための経費が関係が考慮されている。

の進展で三億円になったことなど、来年度の新規事業を非常に圧迫することになっている。

このほか四十年年度では、材料試験炉の建設関係で、債務負担行為の現金化するもの二億九千九百万円、原子力第一船建造のための頭金六億円、昨年一億円で足りた核燃料物質購入のための経費が関係が考慮されている。

の進展で三億円になったことなど、来年度の新規事業を非常に圧迫することになっている。

このほか四十年年度では、材料試験炉の建設関係で、債務負担行為の現金化するもの二億九千九百万円、原子力第一船建造のための頭金六億円、昨年一億円で足りた核燃料物質購入のための経費が関係が考慮されている。

の進展で三億円になったことなど、来年度の新規事業を非常に圧迫することになっている。

このほか四十年年度では、材料試験炉の建設関係で、債務負担行為の現金化するもの二億九千九百万円、原子力第一船建造のための頭金六億円、昨年一億円で足りた核燃料物質購入のための経費が関係が考慮されている。

の進展で三億円になったことなど、来年度の新規事業を非常に圧迫することになっている。

このほか四十年年度では、材料試験炉の建設関係で、債務負担行為の現金化するもの二億九千九百万円、原子力第一船建造のための頭金六億円、昨年一億円で足りた核燃料物質購入のための経費が関係が考慮されている。

の進展で三億円になったことなど、来年度の新規事業を非常に圧迫することになっている。

を設け、R-1利用促進における諸問題を各専門分野について自由討議をおこなう。

◇施設見学会 参加者の希望により四コースの施設見学会を予定している。

①原研高研研究所②FAPIC放射線ほか一カ所③TAPICほか二カ所④NAGCほか一カ所

なお個人の希望によって、放射線、農技研、理研、原研R-1、核研電気、三原原子力大宮研、都立R-1などの見学も可能である。

◇アイソトープ関連機器展示会 会期中、赤坂プリンスホテルで、最新の機器などを展示する。これには関係会社十九社が約百品目(約五十コマ程度)を出品する予定になっている。

日本連統(名)である。なお、原子力工学科は訓練期間二年、放射線管理、測定、保護物の講習を受け、卒業者は短大卒と同じ資格がある。

▽訂正 前号「アジア原子力」の編集に協力体制の記事中、編集委員に立教大服部孝氏(日本原子力学会)を脱落したので追加訂正します。

受入れに産業界の配慮を

来春第二回生が巣立つ

全国で唯一の原子力課程をもつ茨城総合職業訓練所(水戸市青柳町)では、来春三月に第二回の原子力工学科卒業生九名を送り出すので、目下その求人先をさがしている。

同所では今年、第一回卒業生十二名を送り出し、一名を除いては、就職した。

金員が就職、うち十七名が放射線取扱主任者二種試験に合格することになった。その就職先は、原研(三名)、原研(二名)、日立(四名)、千代田保安用品(三名)、三菱原子力(二名)、東芝(二名)、日本原子力(二名)、第一化学(二名)、芳沢鉛業(一名)。

航空機のR-1等輸送に基準

運輸省、航空法施行規則を告示

運輸省では、このほど航空法施行規則第九十四条の規定のもとで、航空機による放射性物質輸送の基準を定める告示をたて、八月十五日から適用することにした。この告示のうち、放射性物質に関する事項は左の通りである。

第十三条 放射性物質量は二千

バキュームをこえる放射性物質を収める容器は、別表第八に定めることによるほか、次の各号に適合するものでなければならない。

一、火災等の事故に際して生ずることが予想される破壊、漏洩等を最小限度にとめることができないような強度を有するように設計されたものであること。

二、航空機内で燃焼するものができるように設計されたものであること。

三、取扱に便利なるようにフックとて、停止等の装置を備えなければならない。(第一、三項略)

四、一機の航空機には、放射線量(包装の表面から一メートルの距離における毎時の放射線量をバレンで表示した数値をいう)が四十

ばならない。

第十五条 放射性物質は、火薬類、引火性液体類、引火性の高圧ガスならびに高圧容器に詰められた毒性のガス及び液体と混載してはならない。

第十六条 略

第十七条 核燃料物質は、いかなる場合においても国境に達するおそれがないように措置しなければならない。

● ばらの勸銀・あなたの銀行

日本勧業銀行

本店 東京千代田区千代田1の1
電話 (591) 3351 4151 6261

二冷却炉型を最終的に検討

国産動力炉計画委員会 日本原子力研究所の国産動力炉計画委員会は、八月十七日(月)午後一時から説明会を開かれた。

原研側から新設計の国産研究炉計画が、いささかのうちに、杉本国産動力炉開発部長代理から中間報告案について説明した。同案では前回(七月十日)の会合で、五ヶ所各社から提出された概念設計を比較検討した結果、重水減速沸騰炉型と軽水減速沸騰炉型を二冷却炉型の二概念に絞り、これら二概念について検討を続けることを決めている。この日はこの二概念について当初原子力委員会が決められた開発の進め方の大綱に照らし、①実用化の見通し②燃料の有効利用(サイクル)③自主的な開発(国産)などの諸点をさらに究明することになった。次回はその試案をもとにして最終的な検討をする。

▽訂正 前号「アジア原子力」の編集に協力体制の記事中、編集委員に立教大服部孝氏(日本原子力学会)を脱落したので追加訂正します。

株式会社 竹中工務店

取締役社長 竹中 録一

本店 大阪市北区堂島中二丁目三〇番地
支店 東京千代田区神田錦町一丁目九番地
支店 札幌・仙台・横浜・静岡・名古屋・富山・京都・神戸・岡山・広島・高松・北九州・福岡

横浜ゴム株式会社

東京都港区芝田村町5の4
電話 (432) 7111 (大代表)

ヨコハマ

